

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	970 駐車場事業	会計	07	駐車場事業特別会計
		款	01	駐車場事業費
		項	01	駐車場事業費
		目	01	駐車場事業費
基本 施策	66 文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする	細目	101	駐車場事業費
		細々目	01	駐車場事業費
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	11200	担当者氏名	梅田 佳生 連絡先 22 - 9610 (内線) 2332
	名称	企画総務部管財課		

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民、観光客	※対象件数
成果(どうする)	車両交通の円滑化、JR駅利用者の利便性向上、観光振興	
根拠法令・要綱等	地方自治法244条の2、伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例、伊賀市駐車場条例	
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H22 事業内容	1.施設の経常経費の管理 2.施設の指定管理者との施設管理の調整 3.施設の営繕 4.駐車場用地の借り上げ ※管理駐車場……市庁舎駐車場、白鳳門駐車場、上野公園駐車場、東大手門駐車場、だんじり会館駐車場、城北駐車場、伊賀上野駅駐車場、佐那具駅駐車場	
社会情勢の変化等	市民等が安心して利用できる駐車場として、受託者を指導すると共に新たな駐車場の確保又は、駐車場不足を解消するため、観光シーズンには平日、城北駐車場を一時的に開放する必要がある。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	民間委託等
委託先	伊賀市シルバー人材センター、伊賀上野観光協会、佐那具駅構内営業運営委員会
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
駐車場利用台数	駐車場利用台数	台	目標 105000 実績 105995	目標 105000 実績 95421	100000	100000
	駐車場管理業務委託料(駐車場指定管理料)	千円	目標 17792 実績 17781	目標 17748 実績 17493	17551	17551

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
駐車場回数回転率(駐車場台数/駐車可能台数)	駐車場回数回転率(駐車場台数/駐車可能台数)	各駐車場の利用形態が違うので駐車場回数回転率を指標とすることは問題はあるが、成果を測るため必要とする。(平均駐車場台数 852台)	%	目標 0.64 実績 0.64	目標 0.64 実績 0.61	0.64	0.64
	月極利用台数	JR駅利用者の利便性の向上を図る指標として月極利用台数とする。	台	目標 40 実績 27	目標 40 実績 26	40	40

投入コスト	H21 決算		H22 決算		H23 当初予算		H24 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	48,496	43,292	45,247	45,023				
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	48,260	43,292	45,247	45,023				
一般財源	236	0	0	0				
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト(A)+(B)	52,096	46,892	48,847	48,623				

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市民全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
効率性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	JR利用者の増
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
改善策	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	平成22年度中に、駅前ビル関連の駐車場運営の方法を検討するとともに、伊賀上野駅駐車場の運営方法についての検討を進める。
改善策	【状況】 計画のとおり進んでいない
昨年度の取組状況	【詳細】 駅前ビル地下駐車場、駅前広場駐車場の関連を踏まえ、現在も検討中です。伊賀上野駅駐車場の運営方法についても継続検討しています。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	宮崎 寿
事業の方向性	【方向性】 手法改善
理由	駐車場別収益で損失計上している駐車場があることから、全駐車場でも収益が上がるよう手法を改善する必要がある。
現時点における課題、その他	事業全体では、19,412千円の収益を計上しているが、駐車場別に見ると唯一、伊賀上野駅駐車場が約28万円の損失となっている。この損失計上している駐車場の運営手法を見直す必要がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	伊賀上野駅駐車場について、シルバー人材センターへの駐車場業務委託料の見直しを行うとともに、月ごめ駐車制度の導入等を検討し、収益率の改善を図る。